

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・当社内部の「ブランドブック(和心)」等により全社員へ周知、共有している。								8	9									17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の考え方は、当社のブランドの源泉であるという考え方を基に体制を構築している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・公平公正な取引を行うよう、社内会議、朝礼等にて全社員に対して発信、周知させている。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者、専門部署を設置している。 ・当社の事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響(可能性)を把握している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・当社の独自技術等が社外へ流出しないように、就業規則に規定している。 ・知的財産の侵害が無いように、社内勉強会を開いている。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報は施錠できる場所に格納している。 ・パソコン等においても、パスワード設定により保護している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・協力会社と環境面、安全面での勉強会等を開催する他、行政との防災協定締結により対応を行っている。 ・お客様の意見を収集するために満足度調査を行っている。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・協力企業と共同で人権、環境面での勉強会等を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・災害時の訓練を年1回行っている。 ・【予定】令和7年3月までに、事業継続力強化計画認定を取得する。									9		11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後継者の指導・育成に取り組んでいる。								8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・性別、年齢、障がい等による差別を行わない事を規定している。 ・ハラスメントを起こさないための教育、研修も都度行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・「安全管理手帳」を作成活用し、現場での事故、災害を防止し安全な労働環境を整備している。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・適正な評価と賃金の支給により、同一労働同一賃金の実現を図っている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・ノー残業デーを設けるなど、仕事と家庭の両立を図っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・「企業大学」の名称での独自の社内研修により、新人～管理職までの教育機会を提供している。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社内の福利厚生として、スポーツクラブ利用を無料にするなど、独自の健康経営に取り組んでいる。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・障がい者雇用など、ダイバーシティ経営に積極的に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・ウェブ会議等を導入することにより、感染症対策を行い、新しい生活様式への対応を行っている。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・物件のデータを電子化するなど、業務のデジタル化を積極的に推進することによりDX化を推進している。 ・DX認定(経済産業省)を取得している。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9			12					

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:			和久田建設株式会社																			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																		
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																				
																																										
環 境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・各種工事現場での廃棄物の分別を行うことにより、適切な処理、管理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1																						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートの活用により自社のエネルギー使用量を把握している。 ・節電への取組、社用車のハイブリッド化により、エネルギーの削減に取り組んでいる。							7.3						13																								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・全社での電気使用量の見える化等で温室効果ガスの排出量を把握した上で、低燃費型の車両の導入、オンライン会議の導入による車移動削減等で排出抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15																						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・現場の環境調査を行った上での施工を行い、生物多様性の保全に取り組んでいる。						6.6								14	15																						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・現場では廃棄物の分別によりリサイクルに取り組んでいる。 ・事務部門でも、ごみの分別、ペーパーレス化の推進により効率的な資源利用を行っている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15																						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水路等の工事を請け負うことにより水資源の保全のために取り組みを行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17																				
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・自社で利用するトイレットペーパー、コピー用紙などは、グリーン購入を主体とした調達に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15																						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4							12.3		14	15		17																			
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・社有林を保有しており、その適切な管理を行う事により、緑の創出に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17																				
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・LEDへの切替を随時行うことにより、エネルギー効率の見直しに取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3																								
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・社有林を保有しており、その適切な管理を行う事により、森林資源の循環利用に向けた取組みを推進している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15																						
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・社有林を保有しており、その適切な管理を行う事により、持続的な森林使用への取組みを推進している。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15																						
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・海・川周辺の清掃ボランティアを行うことで、海洋ごみの削減に貢献している。												12.2 12.5		14																							
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・ハイブリッド車を社有車として使用することで、環境に配慮している。									9.4		11.2		13.1 13.3																								
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2																			

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:			和久田建設株式会社																			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																		
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																				
																																										
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・独自の品質管理システムがあり、建築物等への品質確保に向けて積極的に取り組んでいる。			3.9						9			12.4																									
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・本社社屋、住宅設計においてユニバーサルデザインの推進・提案を行っている。事例として段差解消、手すり、スロープ、センサー式蛇口の設置を行っている。									9.1	10	11.7							17																			
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・建築木材については、熊本県産材を使用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17																			
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・鉄筋コンクリート造の建売住宅にて、天井や床やサッシに一部木材を使用し、木質化に取り組んでいる。							7					12.2	13.1		15																						
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・全災害対応型の住宅、省エネルギー型の住宅を設計施工することにより、社会課題解決に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																				
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17																		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・球磨川等での清掃ボランティア等へ積極的に参加している。 ・地域のイベント、祭などへの寄付を計画的に行っている。 ・自社の「クラブアメックス」にて、定期的に、健康・文化・芸術の各側面でのイベントを開催し、地域への参画を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																				
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・災害時の訓練を年1回行っている。				4								11.5		13.1			16																				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・災害時に避難場所として当社のビルを開放するなど、防災、減災に向けた取組を行っている。 ・熊本県との防災協定を結んでいる。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17																			
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・災害対応型の住宅建設を積極的に推進している。									9		11	12	13.1																								
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社内でSDGs委員会を設置して定期的な開催を行い、SDGsの社内での普及啓発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・インターンシップ、職場体験などの受け入れを積極的に行っている。				4					8.6		10.2							17																			
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組を行っている。		●	・地元の若者を積極的に雇用している。				4.4					8.5 8.6									17																			
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。